
やがて俺を支える言葉

D I S

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

やがて俺を支える言葉

【Nコード】

N3120B

【作者名】

DIS

【あらすじ】

十四歳のまだまだ世間知らずの俺がこの世の中で思ったけとを精一杯言葉にした詩集です。

（前書き）

初投稿です。まあ暖かい目で見て下さい。ちなみに詩集ですので。暇な時にでも見てやって下さい。

色々あったけどさあ。

まあ嫌こともストレスたまることもあったけど。

楽しいな人生。これからずっと・・・。

欲望がなくなるとき。大人になっておじいちゃんになって夢を叶えて満足して。欲望が生まれなくなったとき。それは多分自分の死ぬとき。

この二つの詩は俺が幸せと不幸を同時に体験したときにふと思った言葉です。

はじめましてDISと申します。初投稿は小説にしたかっんですがやっぱり詩集のほうが先にできてしまいました。まあ暇な時にでも読んでやって下さい。

幸せって何？って聞かれてすぐに答えられますか？俺には無理です。だって俺自身もあまり幸せを体験していませんから。

言葉は難しいです。言葉だけでは自分の気持ちをうまく伝えられませんが。

それは俺だけですか？

とても仲のいい友達をつくろう。喧嘩することも意見が違うときもあるけど。大人になってもおじいちゃんになっても、その絆がきれないような友をつくろう。そしてその友と一生笑って生きていこう。

しんどくなったら耐えないで下さい。人に優しくしなくてもいいから、無理しないで下さい。人にすがってもいいから無理はしないで。

清らかな涙を流して下さい。悲しみでも怒りでもない感動の涙を。

なにかに一生懸命になってみてください、そうすれば多分、人生楽しくなります。

友達がさあゝ悩んでいたらさあゝ一緒にさあゝ悩んであげようよ。

好きな人には幸せでいてほしい。別に理由なんかないんだな、理屈なんかじゃないんだな。

自分が死んだときに一人でも悲しむ人がいるならば自分には生きている意味があるんだな．．．まあ生きるのに意味なんかいらないんだけどな。

壊すのは簡単だけどつくるのは大変なんだなあゝ

歌を歌っていると気持ちが晴れる。歌を歌っていると嫌なことを忘れられる。嫌なことばかりの人生だから、息抜きはとても大切です

冬はこたつに入りたい、夏は海に入りたい。そんなら春は？秋は？．．．のんびり過ごしたい

本当に大切なものは失ってから気付くんです。失ってからじゃ遅いの、失ってから気付くんです
そんな目にあわないために全てのことを大切にしましょう。

「勉強なんてクソくらえ!!」
そう思うときもあるでしょう。確かに勉強より大切なものはこの世の中にはいっぱいあるんです。でもその大切なものを見つけるためには勉強が必要なんです。

小さな小さな約束をしつかりしつかり守っていたら、大きな大きな信頼を生むことになるよ。

鳴かぬならほつときやいいじゃん！ホトトギス。

人は変わるかな・・・変わるよね・・・そう思いたい。

人はなぜ笑いを求めるのだろうか。それは笑って忘れたい不安、悲しむ、怒り、ストレスがあるからやんな。

冬の日にとたつの中で起こる足の戦い。

あなたが利益のためだけに人助けをして、その人にお礼を言っても
らえたとしたら。あなたが考えていたのは、よくないことかもしれないけど、やったことはいいことだったんだ。ずっとそういうことを
やっておけば、あなたは利益のためじゅうなく

「ありがとう」

のために人助けを始めるんじゃないかな。

静寂とは静かで寂しいと書くんだね。

この世にどうでもいいことなんてないんだよ。

何事にも一生懸命やることに意味があると思う俺ですが、俺にはまだその美しい意味はわかりません。

嫌なことに目をつむる人は知らず知らずの内に美しいことにも目をつぶっていることが多い。どんなことでも、今、ここで起きていることから目をそらしてはいけない・・・まあ俺はよくそらすんですけどね。

目ね前で小さな命がさ、一生懸命生きようとしていたらさ、無限の

可能性を信じて助けてあげようよ。善意をもって助けてあげようよ。その時あなたはいいよ。うのない清々しさを感じるから。

人間のせいで地球が泣いています。

深呼吸して、目を見開いて、落ち着いてみれば、自分の視界が広がる。

木はさあぐなにも悪いことを考えずに、静かに力強く、立っているんだね

歩くときは下を向かずに前を向こうよ。雲が見えるくらい前を向こうよ。下なんか見てもなにも変わらんから。嫌でも恐れずに前を向こうよ。そうすれば多分、明るく、優しく生きていけるよ。

人間は一人では生きていけない動物です。

当たり前のことを当たり前にする。それは多分幸せです。

別れるときに初めて知るあなたという存在。

みんなが笑うから笑って、みんなが泣くから泣いて。そんなことばかりしていたら、そのうち自分がなくなってしまうかもしれない。

俺は強くなるより優しくなりたいと思う。

風が吹くからこいのぼりは飛べるんだなあ

鳥は飛びたくて飛んでるんじゃない、飛ばないと生きていけないから飛んでるんだと俺は思う。

月はいつでも太陽を追っかけている。太陽はいつでも月を追っかけている。絶対に追いつかないけど、それでも追いかける。誰か言ってやって下さい。ちょっとぐらい休めば会えるんじゃないかって。

間違ったところを消しゴムで消せばどうやっても消しかずができてしまう。

修正液で塗り潰せば、そこだけやけに白くなってしまう。間違ったところを壊してしまえば、もい字が書けなくなってしまう。まだ俺は書かなきゃならないところがあるから。それはみんなも同じだから。まだみんなにも書いてないところがあるから。しっかり自分の字で残っている書かなきゃならないところを書いてみて下さい。

こんな詩集を最後まで読んでくれて本当にありがとうございます。俺が書いた詩があなたの人生になんらかのプラスになれば幸いです。次は小説を投稿しようと思っているのでそちらも暇があれば読んでやって下さい。

この詩を読んで下さった全てのかたに幸せと安らぎがくることを願っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3120b/>

やがて俺を支える言葉

2010年12月11日20時09分発行